

2020年4月17日

ハロン市

ハロン市はクアンニン省の省都であり、同省の商業、文化、政治、観光の中心として知られている（漢字表記は「下龍」）。特にハロン湾はその美しい景観が評価され、1994年と2000年の2度にわたりユネスコの世界遺産として認定された。ハロン市は、ハノイ市の東165 km、ハイフォン市の東北70 kmに位置し、東は東シナ海に面している。ハロン市は経済発展、観光、海上輸送における戦略的な重要性から、大きな可能性を秘めていると言えよう。



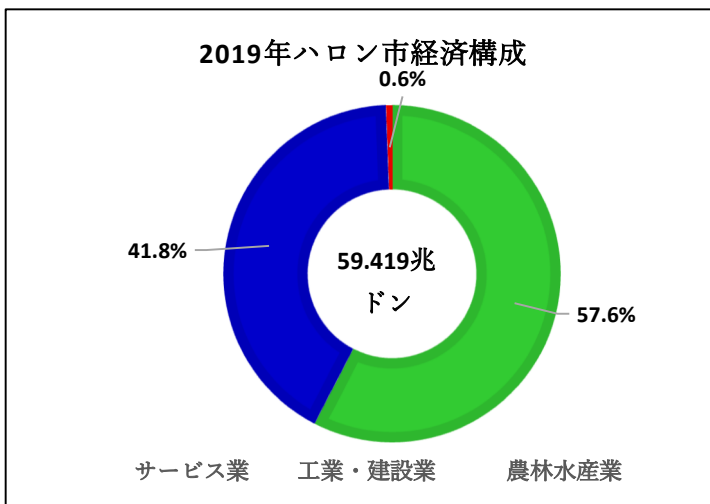
◆ 経済について

2019年の域内総生産（GRDP）は約59兆4,190億ドン（約25億6,000万ドル）と推定され、前年比11.5%増加した。2015～2019年の平均GRDP成長率は15.8%

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

で、同期間の全省平均 GRDP 成長率の約 10.9%及び全国平均 GRDP 成長率の約 6.76%を上回った。ハロン市当局も 2020 年に 12.7%以上の GRDP 成長率を目標としている。ハロン市の 2019 年の一人当たり GRDP は約 10,300 ドルで、クアンニン省の 6,135 ドルを上回り、全国一人当たり GRDP の 3.8 倍の水準だった。



ハロン市の経済構造は、サービス業の開発に集中する方向に徐々に移行している。2019 年には、サービス業及び工業・建設業がそれぞれ GRDP の 57.6%、41.8% を占め、農林水産業はわずか 0.6%であった。

出所：ハロン市人民委員会

海外直接投資に関し、クアンニンには 129 の FDI プロジェクトがあり、認可額は 63 億 1,701 万ドルである（2019 年 12 月 20 日現在）。その内、クアンニン省の FDI プロジェクトの約 50%は、観光、サービス、不動産、インフラ建設の分野でハロン市に集中している。行政改革とともにインフラ開発の面で、ハロンは国内外の投資家にとってますます魅力的になっている。2018 年のクアンニン省の行政改革指数（PAR INDEX）は 89.06 ポイントで全国をリードし、中でもハロン市は 93.17 ポイントに達し、同省で首位にランクされた。さらに、2018 年末に完成したヴァンドン国際空港、ハロン国際旅客港、ハロン～ヴァンドン高速道路等の主要な輸送インフラプロジェクトは、ハロン経済はもとよりクアンニン経済全般の原動力となっている。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。



ヴァンドン国際空港



ハロン～ヴァンドン高速道路

2020年1月1日のホアンボー県との合併により、ハロン市は最大の面積を持つ地方都市となった。ハロン市は、文化的な沿岸観光都市になることを目指しており、ハロン湾の価値を維持・促進するとともに現代的な社会経済インフラシステムを備えた世界水準の観光・サービスセンターを志向している。ハロン市はクアンニン省が2030年までに中央直轄行政区になるために重要な貢献をすることが期待されている。

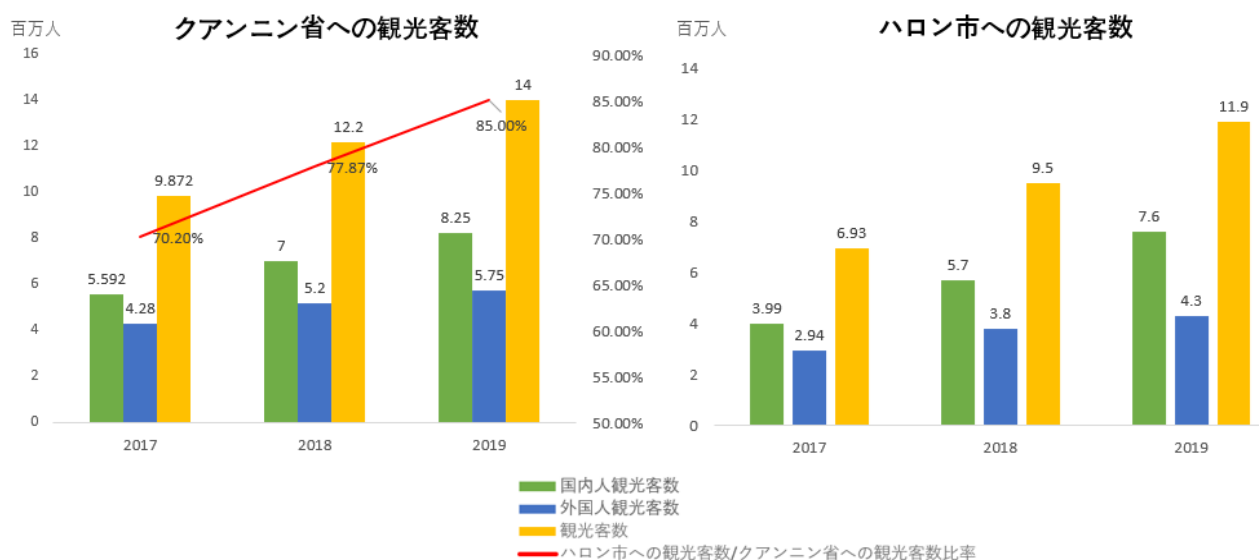
◆観光について

ハロン市はユニークな観光資源が豊富にあり、クアンニン省観光の中核を担っている。現在、ハロンの観光客からの総収入はクアンニン省全体の観光収入の80%以上を占めている。2019年にハロンを訪れた観光客数は約1,190万人で、観光客からの総収入は前年比+24%増の23兆8,000億ドン（約10億2,586万ドル）と推定されている。同観光客の内訳は外国人は約430万人、国内客が約760万人で、それぞれクアンニン省全体の観光客数の約75%、90%を占めた。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

クアンニン省、ハロン市への観光客数



出所：クアンニン省人民委員会、クアンニン新聞

景勝地ハロン湾



ハロン市はユネスコによって世界遺産として認定

されたハロン湾で有名である。ハロン湾は約1,500km²もの広大な湾内に浮かぶ大小2,000ほどの奇岩を有し、壮大なスケールで広がる山水画のような光景で有名である。観光の選択肢は多様で、ハロン湾の海上で夜を明かすクルーズや28ポイントを通過する5つの観光ルートが提供されている。さらに竹ボートやカヤックのローイング、スピードボートの運転、ティエンオン洞窟での考古学ツアー、水上

飛行機によるハロン湾観光フライト等の様々な観光サービスも充実している。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

整備された観光客向けの宿泊施設



サンワールドコンプレックス遊園地

ハロン市にはクアンニン省の5つ星ホテル7軒のうち5軒、4つ星ホテル21軒のうち20軒、3つ星ホテル30軒のうち22軒があり、質の高いサービスを提供するホテルが整備されている（2019年第3四半期末現在）。さらに、ハロン市はサンワールドクアンニン遊園地、ハロンの3D画像ディスプレイ博物館、クアンニン博物館といった遊園地の開発にも投資しており、多様な観光客のニーズに応じている。

魅力的な名物料理

ハロン市は地元の新鮮な魚介類を使った海鮮料理で有名である。

チャムックは新鮮なイカから作られる。調味料に付け、油が沸いているフライパンに入れてから出来上がるチャムックは黄色でいい香りがする。



チャムック



シャコ入り麺汁



サスン



貝類

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～



サスンは栄養たっぷりの食べ物で、体に良い健康食品とされる。様々な料理方法があるが、カリカリに揚げる調理法がもっともおいしいとされ人気が高い。



ハロンタピオカヨーグルトは冷たいヨーグルトとタピオカ入りの熱いココナッツミルクを組み合わせた食品である。ベトナム全土で人気があり、ハノイとホーチミン市に多くのフランチャイズ店が進出している。



写真提供：JVRC

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。